

①協働的な学びについて

アンケートを事前に取って点数化して視覚化したことで課題をもてた。課題をもてたことで話し合う必要性が生まれて、話し合いができたと思う。

項目ごとのアンケート結果（得点別）がグラフで比較されて提示されていることで、学習目標を意識したためてをたてやすくなった。

話し合いと同時に他の人の意見が見られるのが良かった。

ジャムボードを見ながら、友達の見解を確認できて、自分の意見も落ち着いて述べることができた。

ジャムボードを使って友達の見解を共有できた。それに基づき小グループで話し合うことができたのがよかった。

話し合いが活性化するように掛け合いがあった。

自分の意見だけでなく、友達の見解も取り入れた課題の設定

よかった点

質問

質問の答え

改善案

その他

話し合いから自分の意見をより良いものに変わらされたのではないが。

自分の言葉だけだと表現できなかった。よかった。

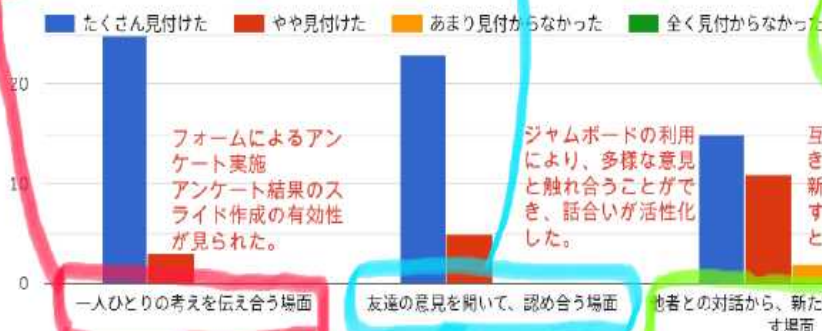
自分の意見を言って終わっていた子が、次に驚かされていなかった。

「協働的な学び」の以下の場面を見付けましたか。

ジャムボードに意見を出したあとに、小グループで話し合いをする理由は？



友達の意見を聞いて、「認め合う」「自分の意見を確かめるものとする」ため



フォームによるアンケート実施
アンケート結果のスライド作成の有効性が見られた。

ジャムボードの利用により、多様な意見と触れ合うことができ、話し合いが活性化しました。

互いの意見を網羅できたことを、児童の新たな考えを生み出すことにつなげることが課題である。

具体と抽象のやり取りは協働（講師 佐藤先生）

ジャムボードに自分の考えを入れた後に話し合いをすることで、一人ひとりが意見を伝えられていたから。

意見を認める姿があったから。

ジャムボードからいい考えを探していた。

個別→協働→個別のよさが出ていた授業であった。

工夫をグループで話し合う場面があった

ジャムボードを通して、全員に自分の意見を「伝え合う」「認め合う」ことができた。

ジャムボードに入力して終わりではなく、ジャムボードをもとに小グループでの話し合いが活発に行われていたから
小グループで意見を伝え合う→新たな考えが生まれるところ。

ジャムボードに意見を書いてグループで共有する場面で見られたと思っています。

"1人1人の考えを伝えあう→ジャムボードから話し合いを行っていたから。

友達の意見を認め合う→話し合いを行い、承認や共感していたから。

"友達と自分の意見を伝え合い、話し合う中でお互いの意見をつなげることができていた。

ジャムボードがあることで、思考が残っていてそれぞれの意見をつなげることができている児童がいた

話し合いの中で、話を聞いて更に考えたことを発表している子がいた。

自分たちが出した考えをもとに、自分のめあてをきめていた。

ジャムボードに入力した他児童の意見を見ながら、自分の意見を考えていた。

自分自身を振り返ったり、振り返ったものを生かして話し合ったりする場面があったから。

小グループの時間が適切に設定されていたから。

話し合いの時間が十分にあったから。

内面のことは、見えない

小グループでの話し合いでは、リアクションはあったものの、そこから新たな意見には繋がっていなかった。（私の見た中では）

他者との対話から新たな考えを生み出す→他者との対話はあったが、新たな考えが生み出されたのか分かりづかった。

新たな意見を生み出したかどうかは、児童の実態による。

「協働的な学び」について

◎ジャムボード＋小グループによる話し合い＝意見を伝え合う、認め合うことの活性化

◎学習者用端末活用による時間の短縮→話し合いの時間を十分に確保できる

「新たな考えを生み出す」を、教師側がどう見取るか。

②個別最適な学びについて

質問

質問の
答え

改善
案

その他

自分の目当てを
書く時に、ジャ
ムボードやグラ
フなど、様々な
手立てがあっ
た。

ジャムボードの
意見を自分に取り
入れられるのが
個別最適な学
習になっていた。

めあての決め方
が、多様に選択
できてよかった。

友達の考えから
自分の目当てに
繋げられる。語
彙の少ない子
も、表現でき
る。

A 話し合っ
て他の人の
意見も聞いたり、
ジャムボードで
意見を言ったり
した上で、自分
の目標を決めら
れたのが良かった。

見える
化が良
かった

以下場面を見付け

学期ごとに振り
返りのできる仕
様のスプレッド
シートと、めあ
てカードの使用

スプレッドシート、短
冊の両方に同じ目標が
書いてあると、いつも
目標を確認できるし、
毎日振り返っていき
るので良いと思う。

スプレッド
シートとめ
あてカード
の併用

毎日スプレッド
シートで振り返
りができるの
が、児童にも教
師にも便利。金
丸

スプレッドシ
ートのコメント欄
があることで、
お互いに関わり
合えてよい。

コピー

振り返りの
今後の取組
は？

①毎日②毎月③
学期初め〜その
都度振り返りを
させる。

自分の今のま
までよい。必ず
でなくてもよ
い。

掲示は変え
ない。変え
る場合は、
赤ペンで

■たくさん見付けた ■やや見付けた ■あまり見付からなかった ■全く見付からなかった



掲示物とスプレッド
シートの併用→思考
ツールをクロムブック
で使用する。その結果
は紙・黒板などアナロ
グにすると良い！

「個別最適な学び」 について

たくさんの考えの中から選んでめあてを決めることができていた。
ジャムボードで考えの共有ができていたので、必要な情報を取り入れやすかった。
自分の意見や友だちの意見から、自分のめあてを立てることができたから。
友達の意見を参考にしている様子が見られた。
ジャムボードやスプレッドシート、めあてカードなど、個で考える時間が適切に設定されていた。
ジャムボードから自分に必要な意見を拾って考えている場面が多くあった。
めあてを決めるときに、アンケート結果やジャムボード、友達との話し合いからめあてを選べた。
アンケートやジャムボードから必要に応じて選んでいた場面が見られた。
クロムブックに入力することで、自分自身の考えを言語化し、確認できた。
みんなの意見を見れるのがよかった。
友達の意見を取り入れながら自分の意見を再構築できる授業展開だったため。
みんなが出している意見を参考にしながら自分のめあてを導いている姿が見られた。
"必要な情報を選び、めあてを決める→子供たちがどのような意見からめあてを決めていたのか
分かりづらかった。"

◎ジャムボード、
フォームの結果、
スライド、話し合
いといった多様な
情報を基に、自分
のめあてを立てる
ことができた。
▲情報を活用した
のか、明確にでき
ない。

スプレッドシートだけではなく、紙に書かせたことも一人ひとりが意識する上でよかったと感じたため。
スプレッドシートに振り返りを書いていくから。
毎日自分で振り返ることができるスプレッドシートはとても良かった。
具体的なめあてに絞れていたため、達成に向けた振り返りが可能だと考える。

◎スプレッドシ
ートによる振り返
りの蓄積+画用紙の
めあてカードの併
用=意識付け

③主題に迫るための手立てについて

よかった点

質問

質問の答え

改善案

その他

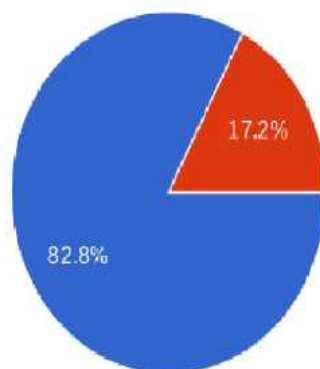
アンケート結果のグラフの提示がよかった。

導入の、点数化と意見の可視化により、友達への考えやクラスの意見の実態を共有していた

可視化、共有化ができていて、そこから自分のことに落とし込めたのが良かった。

本授業（単元）の手立ては、研究主題「他者と協働して学びを深める児童の育成」に迫るものでしたか。

29 件の回答



- とてもそう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 全く思わない

◎全教員が肯定的な評価であった。

④教科としての学びについて

よかった点

質問

質問の答え

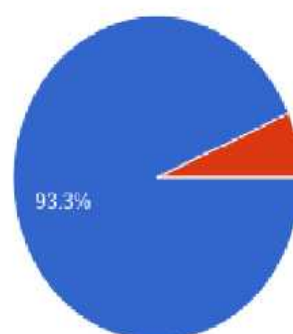
改善案

その他

担任のいろんな声掛けが良かった。「リアクションを取るといいよ」という声掛けは、お互いに話し合いに積極的になれる。

本授業（単元）は、教科の目標に迫るものでしたか。

30 件の回答



- とてもそう思う
- やや思う
- あまり思わない
- 全く思わない

◎全教員が肯定的な評価であった。

「男女仲良く」「プラスの言葉」が子供たちから出ていた。日常どのような指導をしているのか。

担任による日々の価値付け

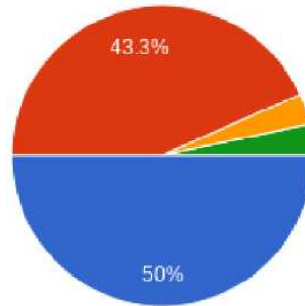
学級目標に迫るための具体的な行動目標には、どのように気づかせたら良いか。

具体的な場面が想像できるような声掛け

⑤ ICT活用について

学習者用端末の使用効果

30 件の回答



- とても感じる
- やや感じる
- あまり感じない
- 全く感じない

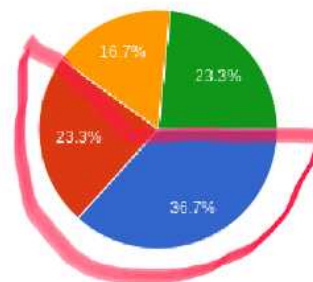
◎ 9 割が肯定的な意見であった。(6 月研究授業時と同数)

⑤ ICT活用について

児童の学習者用端末の授業内での活用頻度 (タイピングは含まない)

30 件の回答

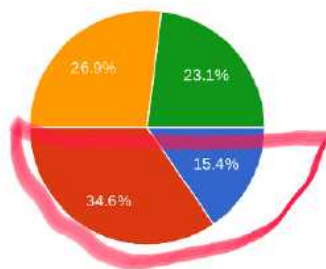
6 月研究授業時よりも使用頻度が上がってきた。



- ほぼ毎日
- 週3回程度
- 週1回程度
- ほぼ使っていない

児童の学習者用端末の授業内での活用頻度 (タイピングを含む)

26 件の回答



- ほぼ毎日
- 週3回程度
- 週1回程度
- ほぼ使っていない

効果的な使い方を更に提案していくことで、使用頻度が上がっていくことをねらっていきたい。

書字に抵抗のある児童にとっても、有効なツールと考える。

ステップでは、個人の振り返りをグラフにすることで自分の頑張りが目に見て分かりやすい

のが効果的だと感じる。また、動画で教員の姿を見せるとよりよい行動を考えさせやすい。

ジャムボードを使うと他の児童の意見を可視化することができる。

意見交流だけでなく、個人のふり返りの蓄積 (そこに友達がコメントを入れるよさ)、自分の

思いをまとめ表現すること

考えの共有、学びの積み重ね (振り返り)

"視覚的に情報共有できるもの。

意見の交流 (発表が苦手な児童も意見を見つけてもらえる)

ジャムボード等を用いて意見を共有する場面

アンケートを集約する際、一覧でわかりやすく共有しやすい。

一人ひとりで画面を見られるので全員が見えやすい。

子どもたち同士が他の子の考えをパッと見られる点。手元で見られるので、わかりやすい。

動画機能での振り返り。

ジャムボードを使って、意見を見える化して、確認できたところが、とても良かった。

思考の可視化

調べ学習

自分の意見以外にも気軽に見れるので、他者の意見を取り入れやすい

意見の共有、共同作業、児童の一人ひとりの学習の記録など

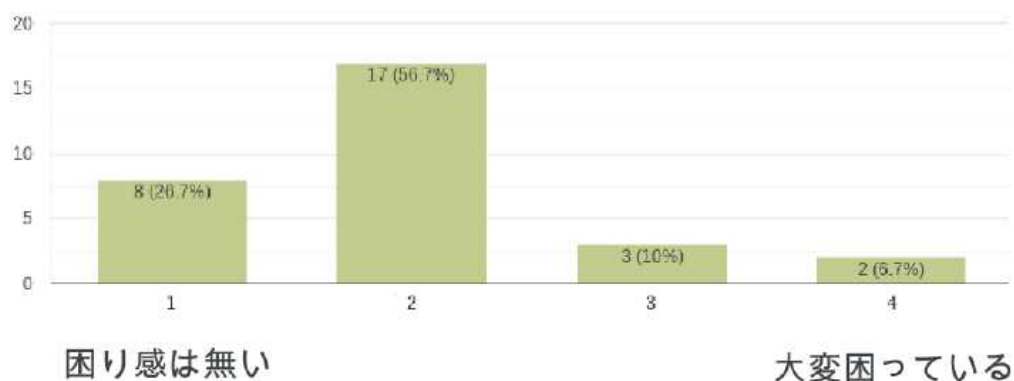
ICTの効果的な活用
の場面は？

⑤ ICT活用について

指導する上での困り感

30件の回答

 コピー



ICTの活用における 困り感

端末操作の差

休み時間、どこまでOKにするか。(学校で再度確認し全体で共通指導すべきかもしれない)

機材トラブル、充電が遅いこと

操作がわからなくなってしまうたり、有効的に使えているのか毎回不安になる。

タブレットを使ったあとに、タブレットをしまうときの切り替えが遅い

ICTの基本操作等、覚えることがたくさんあり、困っています

自分が苦手

使いたいとも、使わせたいとも思っていないところ

機械トラブル

どんな場面、どのようにでタブレットを活用するのが有効なのか考えるのが難しい。

自分自身使い方がよくわからない。

☆今後検討したいこと☆

- ・児童のやる気を引き出しながら、学力をつけていく方法
- ・振り返りの頻度はどのくらいがよいのか？
- ・誰でも使えるような教材紹介
- ・課題について